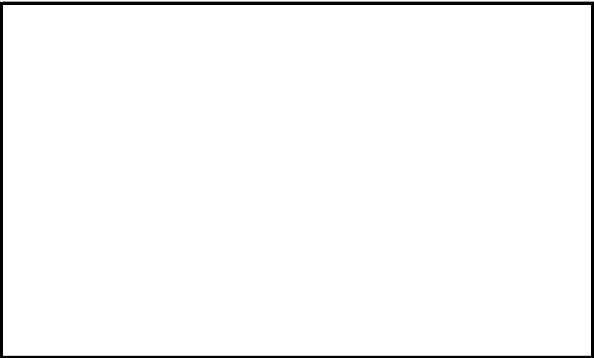


○「農業・農地で初めての意見交換」
(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第10回)

担い手への 農地利用の 集積・集約化	遊休農地の 発生防止・ 解消	新規参入の 促進	その他 (農業委員会の 体制強化等)
--------------------------	----------------------	-------------	--------------------------

1 活動の日時や時期、場所等

○ 日時(時期):	令和2年2月7日(金) 19:00~21:30
○ 場 所:	宮津市宮村集会所
○ 出 席 者:	委員2人、協力員・地権者・耕作者15人 市1人、事務局1人 ※委員2人、委員以外17人
○ 報 告 者:	増田 英雄 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

○ 宮村地区の意見交換
・宮村は世帯30戸、うち農家21戸。耕地13.3ha(水田6.1ha、畑4.9ha、樹園地0.7ha、保全管理1.5ha)
・機械、施設は全て個人所有。最盛期はハウス300棟の一大野菜団地で、現在は30棟
○ 意見交換
・大変な状況であることは感じているが、どうしたらよいか難しい
・誰でも良いので耕作してほしい
・他地区に頼もうとしても同じ状況で難しい
・(全体的に)後継者なし、機械更新予定なし、管理組合は限界、今後は貸したい
○ 初会合。現状に対する貴重な思いを出し合う。農地は農地として活かしたい思いは一致

4 活動結果		
○ 情報・意見交換	2.5	時間
○ 担い手への集積	a	増加
○ 遊休農地面積	a	解消
○ 新規就農者	人	支援